

開業資金チェックリスト

年 月 日

(あて先)

滋賀県知事

取扱金融機関の長

滋賀県信用保証協会理事長

受付機関名

印

(担当者名)

(電話番号)

申込人 _____ 様 の本資金に係る融資申込について、「創業計画書」等の融資審査の結果、融資することを適当と認めます。

受付機関所見欄	申込人の総評、計画の妥当性、事業の見通し、取引経緯、今後の支援方針等を具体的に記載してください。
---------	--

1. 開業資金の融資対象者の要件(創業者区分)

次の①～⑧のいずれかに該当すること

開業前	個人の場合は創業1か月前、法人の場合は創業2か月前から利用可能（貸付実行日基準） ただし、認定特定創業支援等事業の支援を受けた個人は6か月前から利用可能
	①個人で創業予定（申込前6か月以内に事業を営んでいない）
	②個人で会社を設立予定（申込前6か月以内に事業を営んでいない）
	③会社が会社設立予定（親会社は県内で事業を営む中小企業）
開業後(開業後5年未満)	個人の場合開業届の提出後、法人の場合設立後5年未満まで利用可能（貸付実行日基準）
	④個人で創業し、5年未満（開業届の提出以前6か月以内に事業を営んでいない）
	⑤個人で会社を設立し、創業後5年未満（法人の設立以前6か月以内に事業を営んでいない）
	⑥会社が会社を設立し、営業中（親会社は県内で事業を営む中小企業で現在も事業継続している）
	⑦個人で創業した後法人成りし、創業後通算5年未満 （個人での開業届の提出前6か月以内に事業を営んでいないもの）
	⑧個人で医業を主たる事業とする法人またはNPO法人を設立し、設立後5年未満であるもの （法人設立前6か月以内に事業を営んでいないもの）

2. 創業枠、創業サポート枠、女性創業枠の要件

(1) 創業枠の対象者

創業サポート枠、女性創業枠の対象とならないもの

(2) 創業サポート枠の対象者

次の(ア)～(エ)のいずれかに該当すること

(ア) 認定特定創業支援等事業の支援を受けた者 （このうち「1. 開業資金の融資対象者の要件(創業者区分)」(以下「創業者区分」という)の①または②に該当する場合は、創業6か月前から利用可能) （また、このうち創業者区分①～⑥のいずれかに該当する場合は、融資限度額3,000万円）
(イ) 県内インキュベーション施設の入居者(創業準備オフィスについては退去後5年まで可)
(ウ) その他県が定める創業支援策の利用者
(エ) 商工会議所・商工会・産業支援プラザの経営支援を受けた者 ①経営、②財務、③人材育成、④販売の方法の4項目について支援を受けていること

(3)女性創業枠の対象者	
次の(a)～(e)すべてに該当すること	
	(a) 創業者区分の①、②、④、⑤のいずれかに該当すること
	(b) 融資希望額が1,000万円以内であること
	(c) 申込者（会社の場合は代表者）が女性であること ⇒身分証明書等で確認 <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 住民票 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	(d) 申込者（会社の場合は代表者）が実質的な経営者であること ⇒面談により事業計画の立案・遂行において継続的に意思決定を行う権限および能力を有することを確認
	(e) 認定経営革新等支援機関の支援を受けていること

3. 創業計画の内容

事業所の所在地	滋賀県下	申込人の現住所	滋賀県下 その他（ ）
業種		事業上の許認可	不要 許可取得済 許可申請中（取得確実なもの）
自己資金相当額と 融資限度額の確認	(開業前の融資限度額の確認) ※開業前は自己資金相当額により融資限度額が異なる。 ※自己資金相当額とは、創業計画書の「11.自己資金相当額」を指します。		
	i) 創業者区分①または②で融資額が2,000万円以下 ⇒確認不要 創業計画書の「11.自己資金相当額」も記入不要		
	ii) 創業者区分①または②で融資額が2,000万円超。 (融資額【 円】-2,000万円) ≤ 自己資金相当額【 円】		
iii) 創業者区分③～⑧のいずれかである（開業前ではない） ⇒確認不要 創業計画書の「11.自己資金相当額」も記入不要			

4. 創業準備の着手状況

		受付機関確認欄	
		チェック欄	備考欄
①	役員、従業員含め、相応の人員は確保されているか	確保済（ 名） 不足 本人・家族のみで可	
②	事業所・店舗、工場等は確保されているか	有 自宅で営業	
③	税務署への開業届または会社設立登記申請書は提出しているか	提出済 未提出	
④	創業者の経歴（過去の事業経験、実績等）	有（ 年 月） 無	
⑤	取得済あるいは申請中の特許権や実用新案権の保有の有無	有 無	

5. 創業者の状況・事業計画の妥当性

		受付機関確認欄	
		チェック欄	備考欄
①	創業者が属する業界や影響を受ける業界を的確に把握しているか	している していない	
②	事業基盤はできているか(ノウハウ、支援者、取引先、事務所の有無)	できている 未整備	
③	今後の事業方針、戦略、施策は具体的に事業計画に無理はないか	妥当 不確実性が高い	
④	業界での経験は豊富か、また、専門的な知識、技術を有しているか	豊富・専門知識等有 未熟・無	
⑤	経営能力、マーケティング力を有した経営者か	有 無	
⑥	環境認識、リスク認識は妥当か、対応策は持っているか	妥当・対応策有 対応策無	
⑦	創業者の人柄、風評等、経営者としての資質に問題はないか	問題なし 懸念あり	
⑧	経営理念、方針は明確で妥当なものか	妥当 妥当でない	

6. 販売・仕入先

		受付機関確認欄	
		チェック欄	備考欄
①	販売先・仕入先ルートを把握し、確保できているか	できている 不十分	
②	生産または販売における業務提携先、営業協力先等の有無	有 無	

7. 創業資金計画と調達計画

		受付機関確認欄	
		チェック欄	備考欄
①	当初運転資金計画に無理はないか	妥当 不確実性が高い	
②	当初運転資金計画と収支計画、販売・仕入計画との矛盾はないか	なし あり	
③	当初設備計画において、費用対効果は見合っているか、無駄な設備投資はないか	妥当 過大設備 過小設備	
④	当初資金調達計画は妥当か	妥当 過大借入 不確実性が高い	

8. 収支計画

		受付機関確認欄	
		チェック欄	備考欄
①	期間損益の状況は、どのようになっているか	利益見込 赤字見込 収支均衡	
②	季節性等特徴はあるか	有 () 無	
③	全体的に収支計画に無理はなく、過度に楽観的ではないか	妥当 楽観的様相が強い	
④	見込み通りにならなかった場合も想定しているか	している していない	
⑤	業界や市場の動向、外部環境、消費動向等把握しているか	している していない	
⑥	競合他社の存在について会社名、競合する内容、シェア、強みと弱み等詳細を把握しているか	している していない	
⑦	今後新たに他者が参入する等、競争激化の可能性はあるか	有 無	

9. その他

		受付機関確認欄	
		チェック欄	備考欄
①	公序良俗に反するもの、または公序良俗に反する行為のために営業としてサービスの提供を行うものではないか	公序良俗に反しない	
		公序良俗に反する	
②	一時的または投機的なものではないか	ない	
		ある	
③	暴力的不法行為者等の第三者が介在していないか	介在していない	
		介在している	
④	事業の開廃業を繰り返していないか	繰り返していない	
		繰り返している	
⑤	滋賀県信用保証協会（他協会含む）の求償権先および求償権関連先ではないか	ない	
		ある	
⑥	申込人の借入金について延滞等債務不履行、または返済猶予を受けているもの（金利のみの返済または借入残高から見て極端な少額返済で、実質的に返済猶予されているものを含む）ではないか	ない	
		ある	